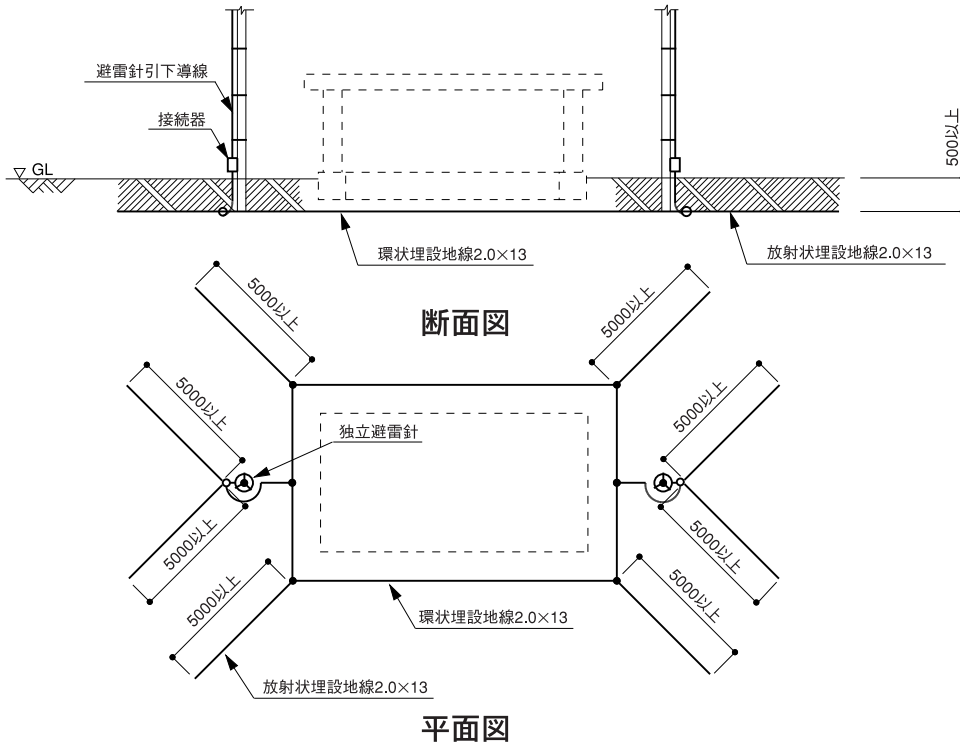


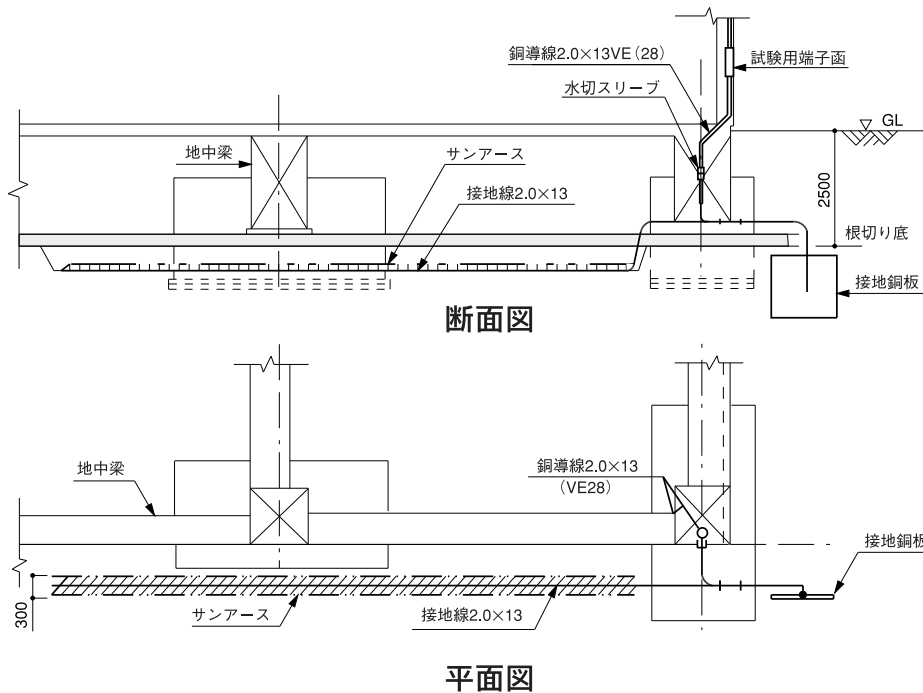
# 接地施工要領図

## 埋設地線施工要領図



- 大地比抵抗率が1000Ωmを越え、総合接地抵抗が10Ωを得られない場合は、被保護物内部の大地の電位傾度を無くする為に、放射状埋設地線と被保護物周囲に環状埋設地線を設ける。 JIS A 4201-1992:3. 1.4 (7)

## サンアース施工要領図



- 地盤が非常に固くアース棒が打ち込み不能な場合に最適です。G.Lより0.5m以下の根切り底に接地線を敷設し、その上に30cm巾程度にサンアースを敷設して行きます。(粉末状 1袋約4m) そのままの状態での接地抵抗を測定します。サンアースは地中の水分でコンクリート状に固まりますので水をかける必要は有りません。